

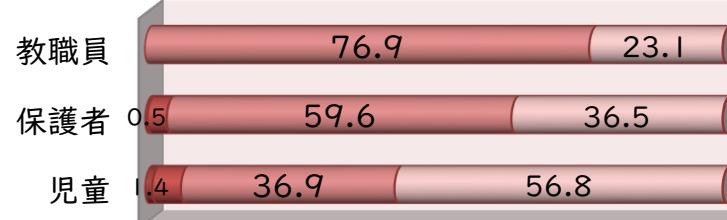


令和3年度 前期 学校評価アンケート集計結果より

日頃は、本校教育活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今年度前期の取組について、10月に実施しましたアンケートについての集計結果をもとに、分析を行いました。昨年度より新型コロナウイルスへの感染防止のために、さまざまな教育活動の変更などを行ながながらではありましたが、皆様のご支援をいただきながら、子どもたちの学びを進めてまいりました。今回のアンケートの分析をもとに、さらに工夫改善をすすめでまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

①学校に来るのが楽しいですか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい

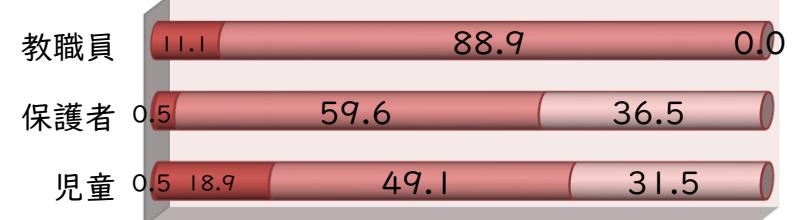


新型コロナウイルスの感染防止など、活動の制限や中止もある中ですが、9割以上の児童が楽しいと回答しています。

今後も、すべての子どもにとって学校が楽しく、心の居場所と思える場所となるように、一人一人の子どもの思いに寄り添った教育活動を進めていきたいと思います。

②思いや考えをもって学んでいますか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい

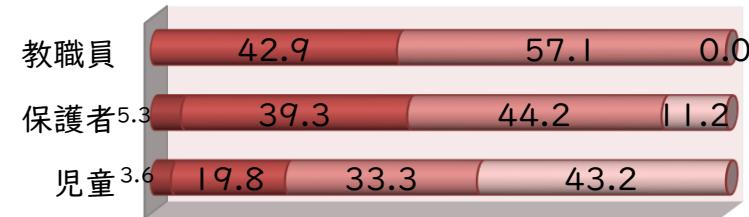


3割以上の児童が自信をもって「はい」と回答し、「だいたい」も含めると8割を超えています。

子どもたちが自己肯定感を高め、また、自分の思いや考えを積極的に出し合いながら学ぶ力を伸ばしていくために、指導力の向上に向けた取組をさらに進めていきたいと思います。

④進んで家庭学習していますか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



「だいたい」も含めると、児童の約8割ができると回答しています。宿題を忘れてしまう児童は少ないが、進んで学習できているかどうかという視点で、保護者や教職員の評価が低いと考えられます。

15分×学年をめやすに、家庭での学習習慣が定着するよう、放課後や休日の過ごし方について児童へ働きかけたいと思います。

⑤進んで読書していますか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



読書を通して、言葉やさまざまな知識が身に付くとともに、豊かな心も育まれます。学校では、朝読書の時間や休み時間などに本を読んでいますが、もっと本に親しめる時間や機会を大切にしたいと思います。学校図書館での本の貸出などを活用して、家庭でも読書タイムを設けていただきなど、本を読む習慣づくりをお願いいたします。

学校教育目標

夢を抱き、生き生きと輝く横大路の子

令和3年11月24日
京都市横大路小学校
校長 谷知加子

めざす子ども像

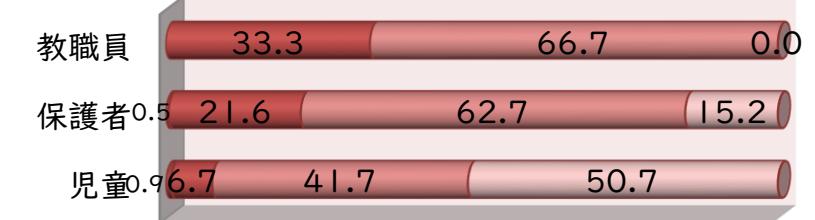
自ら考え、学び合う子
命・心・体を大切にする子
学びを活かし、行動する子

洛水中学校ブロック3校統一の教育目標

「共に学び合い、
自ら未来を切り拓く力を育てる」

③話し合いを大切にしていますか

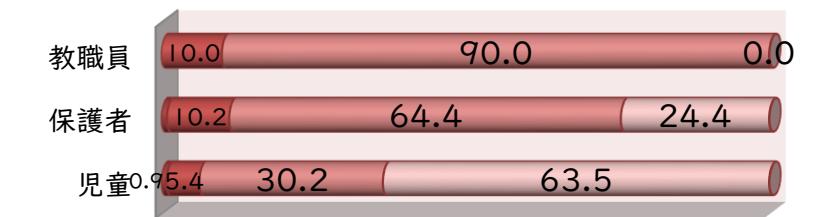
■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



「はい」と回答している児童が約半数、「だいたい」も含めると9割以上が肯定的な回答をしています。友だちの考え方と比べたり、新たな考えに気づいたりできる話し合いのよさを実感していることがわかります。教職員の評価は、さらに学びを深める対話、合意形成の力を高めたいと思いから、少し厳しい傾向にあると考えられます。

⑥自分や他者を大切にしていますか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



児童・保護者・教職員とも、約9割が「大切にしている」と回答しています。特に、「はい」と回答している児童の割合が8%程度高くなりました。かがやき目標(人権目標)の取組で、互いのよさを見つけ合うことや、励まし合うこと、優しい言葉でつながることの大切さについて考えましたが、今後も豊かな心を育む機会を大切にしていきたいと思います。

⑦気持ちのよいあいさつをしていますか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



「あいさつは心のリボン」と言われ、人と人との心をつなってくれる大切な生活習慣です。マスクを着用するようになったためか、あいさつについては個人差が大きく表れるようになりました。児童会の子どもたちによるあいさつ運動など、あいさつをすると心がつながることを感じられる取組を工夫していきたいと思います。

⑨ほめてもらっていますか

子どもをほめていますか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



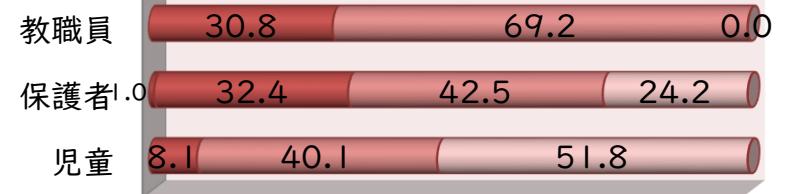
褒めてもらっている(認めてもらっている)と感じている児童が多いことは喜ばしいことです。少数ですが「あまりほめもらえない」と感じている子どももいます。どの子もほめもらえた、認めてもらえたと思えるように、一人一人の個性が輝く取組を進めていきたいと思います。

★保護者アンケート 記述欄より抜粋

- ・毎日楽しく登校できています。クラスの全員と仲良くできているようです。
- ・学習の習慣をつけることをもう少し家庭で頑張ります。毎日楽しく学校に通って、いろいろな話をしてくれます。大変な状況下にもかかわらず丁寧な指導ありがとうございます。
- ・先生からほめられるとうれしいようで、漢字も少しずつきれいに書けるようになりました。
- ・整理整頓が苦手で、なかなかできません。学校でも身につくよう教えてほしいです。
- ・頑張ったことをいつもほめてくださっているので、本人のやる気につながっています。

⑧きまり約束を守っていますか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



With コロナ 心と体を守る 14 の約束など、子どもたちは学校の約束を互いに声を掛け合って守る姿が見られます。アンケートでも約 9 割の児童が守っていると回答しています。一方、保護者や教職員の回答では約 3 割「あまり守っていない」と回答しています。何をどのように守るのか、子どもの心に届く約束を考えていきたいと思います。

⑩生活習慣は身についていますか

■いいえ ■あまり ■だいたい ■はい



約 7 割の児童・保護者が身に付いていると回答しています。子どもたちの成長に関わる大切な習慣ですので、多くのご家庭でよりよい習慣作りを心掛けておられる様子がわかります。「毎日 30 分の〇〇習慣」に家族ぐるみで挑戦してみるなど、生活習慣のパワーアップに取り組んでみてはいかがでしょうか。

◆ 学校運営協議会理事の皆様より

- ◆ 学校が楽しいが一番。学校に来た時、いつも子どもたちが楽しそうにしている。肯定的な回答が多いのは嬉しいことです。100%となるように、協力していきたいと思います。
- ◆ 登校の様子をみていると、高学年の班長さんが、全体の歩く速さを考えて歩いているなど。優しい心が育っていると感じます。
- ◆ コロナ禍においても、体力調査の結果が向上していることは、すばらしいことです。今後も取組を続けてほしいと思います。
- ◆ 確かな学力をつけるためには、家庭学習の定着が大切だと言われています。子どもたちが家庭学習を進んで行えるよう、家庭との連携を大切にしてほしいと思います。
- ◆ 学力調査の分析をもとに、取り組むべき課題を明確にした教育活動の推進が大切であると思います。洛水中ブロックの小中 9 年間を見据えた取組をこれからも進めてほしいと思います。
- ◆ 教職員の働き方改革は進んでいるのでしょうか。家庭や地域の理解も大切だと思います。
- ◆ 子どもたちのために、どのような教育環境が必要であるのか、これからも共に考え、行動していきたいと思います。

京都はぐくみ憲章

～子どもを共に育む京都市民憲章～



わたくしたちは、

- ー 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- ー 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- ー 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- ー 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- ー 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- ー 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。